

Newsletter

No. 3

NPO Nagoya Ryugakusei Net

February 2023

研究支援プログラム トウイさんとの会話

Nagoya RyuNet 賛助会員の濱田裕美さんには、中国からの留学生のトウイ（Wei Tang）さんの日本語支援をしていただきました。そこで、支援と交流の印象を書いていただきました。

日本語教師経験者と聞き、母国の日本語教師事情などを知る機会にもなると思い快諾いたしました。トウイさんは、流ちょうに日本語を話し、話題を上手にひろげ、日本人にも勝るほどの前置きや礼儀を使いこなしていましたので、気持ちよく会話が行えました。私自身の語彙コントロールは一切行わず、伝わらない単語はチャットに漢字を入力することで対応しました。トウイさんは、その場でメモをとり、その後の会話で何度も使い、すぐに定着させる努力をしていました。日本語で話す機会が少ない環境下でもこうして能力の維持や向上させる日々の努力には感心するばかりでした。

オンライン形式（Zoom 使用）のため、写真や音声・動画を共有することができ、短い時間の中でより多く

の情報交換が行えました。

研究テーマだけでなく、日本語教育・結婚・就職活動・SNS など多岐にわたるテーマについて日本と中国を比較しながら情報交換を行い、トウイさんを通じて中国のことを多く学びました。

論文チェックとして心がけたのは意味が通らない誤用の訂正、日本語会話コーパスの聴き取り支援なども行いました。

お声がけくださいましたこと、本当に感謝の言葉しかありません。楽しいお時間、貴重な交流の機会をありがとうございました。

濱田 裕美（賛助会員）

赤い羽根助成プログラムに 応募して採択されました

中央募金会は、昨年、ポストコロナ社会に向けた福祉活動支援助成を行いました。当 NPO は、名古屋地区の大学院留学生がコロナ下でも効果的に日本社会を理解し、専門家・地域の人々と交流できるプログラムを提供することを提案しました。魅力あるこれまでの行事案内ポスターをたくさん付けて応募したところ、提案は、10月28日に採択されました。

この資金を活用して、Explore Japan 第1弾として年末餅つき行事を昨年12月30日に行いました。今年は、大学院留学生のための日帰りバスツアーを企画して、日本をよりよく知る機会を提供します。例えば、岐阜県各務ヶ原市の航空宇宙博物館や三重県四日市市の公害と環境未来館を訪れます。

松浦 好治（会員）

国際交流基金へ 中間報告書を提出

ある個人の方から当 NPO にご寄付をいただきました。その篤志を十分に活かせるようにするため、独立行政法人国際交流基金の特定寄附金制度に応募し交付を受けて、東京研修、なごのキャンパス研修を行いました。これらの研修について中間報告書をまとめ、収支決算書を添えて提出しました。国際交流基金からは大変有意義な体験を提供されている様子が窺え、大いに参考になるとコメントをいただいています。

当 NPO は現在、認定特定非営利活動法人として承認されるための各基準を満たすべく、事業実績を積み、寄附者（賛助会員）を増やしつつありますが、認定が承認されるまでの間に、個人の方からのご寄附を得られる場合は、税制上の優遇措置を受けるためさらにこの制度を有効に活用したいと思います。

小崎 和子（会員）

お知らせとおねがい

- * Nagoya Ryugakusei Net では、これからも様々なイベントを企画する予定です。行ってみたいところ、やってみたいことなど、ご希望をどしどしお寄せください。
- * この Newsletter へのご意見、ご感想もお待ちしています。

連絡先は最後のページをご覧ください



赤い羽根助成プログラム

新型コロナウイルス感染下における
外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

餅つき

～素晴らしいイベント～

年末になると、私たちのような留学生は皆、異国でのホームシックや孤独感から、少し寂しい気持ちになるものです。幸いなことに、机にかじりついて寂しさを感じる代わりに、私たちは素敵な日本の友人たちと一緒に餅つき大会に参加する機会を得ました。12月30日に名古屋留学生ネット（NRN）主催のイベントに参加しました。その日、私たちは小さな町へ行き、ここに住む人たちと一緒に自分たちで餅をついて新年を祝い、魚介のバーベキューとおいしいビールを楽しみました。日本の友人たちからのちょっとしたプレゼントの餅に、私たちはとても驚き、感動しました。また、ご近所のお年寄りや若者など、気さくな方々と「おしゃべり」することで、本には載っていない日本の日常生活や文化について知ることができました。このイベントのおかげで、NRNが主催する他のイベントと同様に、年末に孤独を感じる事がなくなり、喜びと幸せ、そして日本に関するいくつかの有益な知識で満たされた新しい年への意欲が湧いてきました。

最後に、NRNのメンバーの皆さんには、毎回素晴らしいイベントを企画し、よく準備をされていることに感謝したいと思います。今後も素晴らしいイベントを開催していただきたいと思います。（原文 英語）

チャン ティ クイン（名古屋大学法学研究科）

帰国後の私の近況

～日本での勉強、経験を生かして～

私は日本で4年間留学し、去年8月にモンゴルに帰国した。そのときから、5か月はあっという間に過ぎている。

私は、モンゴル国立大学法学部・憲法研究所で働いている。この仕事は、モンゴルへの帰国前の時点で既に決まっていた。面白いことに、私を含めて同研究所の現役研究員の3人は、いずれも名古屋大学の元留学生である。私は、法学部の方では非常勤講師として「人権法」と「憲法」のゼミを担当している。

就職してから、私が遂行した主な仕事は、憲法裁判所に提出された「プライバシー権」に関する研究、ベネチア委員会の「憲法裁判所」に関する報告書編集の翻訳及び国会法務委員会に提出された「選挙権」に関する意見書などである。

研究員が少ないモンゴルの特徴であるかも知れないが、ここでは研究員が短い時間で幅広いテーマ、しか

本物の日本伝統行事

～餅つきに参加して～

蒸した餅米を臼に入れ、杵でこねてから打つ。このダイナミックかつリズムカルな動作が餅つきの醍醐味ですが、もう一つの主役は、輪になって談笑しながら、つきたてのお餅を食べやすい大きさに分け、丸め、きな粉や餡子などを絡めてふるまうこと。実に優雅で温か味のある所作です。人々が集い繰り広げる一連の流れが美しい調和を生んでいました。

餅つき、祭り、盆踊りなど日本の伝統行事が各地で催されていますが、本来の意義やそれらを支えていた畏怖の念、幸せを願う心、家族や地域社会への帰属と絆、そういったものが希薄になる中、この餅つきはまさに本物。私もすっかり嬉しくなって、留学生と一緒に楽しませていただきました。松田建設様はじめ関係者のご尽力に心から敬意を表します。

中村 修（会員）



初めてお餅をつきました！



つきたてのお餅、美味しい

も以前あまり勉強したことのないテーマで研究することが求められている。こうした時は、日本で教えてもらった研究スキルに頼っている。

この機会をもって、色々教えて下さった Nagoya Ryugakusei Net の松浦好治先生に感謝の気持ちを申し上げます。

私は今後とも日本での勉強、経験を生かして頑張っていきたいと思う。



バト・オルシフ

（モンゴル国立大学法学部・憲法研究所）



後列左から
バト・オルシフ*
ルハグウアジャルガル
トゥムルバートル

前列左から
ドゥルグーン バト・トルガ
ムンフサイハン オドンフウ*
エンフツェツェグ ネルグイ*

* 元名古屋大学留学生

Walk and Talk

.....
 あなたが住んでいるこの地域の文化、歴史、人間を知りましょう。
 そして、何より、共に学んでいる他の人たちと知り合い、語り合しましょう。
 休日の午前中3時間ほどの間、散歩し、見学し、お話を過ごすごプログラムです。

「宮の渡し」と「白鳥庭園」への 素敵な旅

よく晴れた11月26日、NRNのイベント「宮の渡し Walk & Talk」に参加しました。
 予定通り9:30に名古屋大学駅で待ち合わせ。電車と徒歩で30分ほどかかって、宮の渡しに到着しました。
 NRNの先生方と会員から資料が配られ、松浦先生から宮の渡しの歴史が紹介されました。ここは、江戸時代に江戸と京都を結ぶ東海道の中で最大の宿場でした。
 今回、1955年に再建された常夜燈と、かつて人々に時間を知らせていた「時の鐘」を見学しました。常夜燈の近くには、古くからある家屋もありました。宮の渡しは、日本の歴史を訪ね歩くのに最適な場所です。続いて、白鳥庭園へ。宮の渡しから歩いて約15分ほどで到着しました。白鳥庭園は、日本の秋の特徴である紅葉がとてもきれいな庭園です。この庭園では、たくさんの美しい写真を撮りました。私はこのWalk & Talkがとても気に入っています。
 このような素晴らしいイベントを開催して下さったNRNに感謝します。NRNの今後の活動で、私たちがもっと多くの場所を訪れることができることを願っています。(原文 英語)

ダン ティ ルー (名古屋大学法学研究科)

- 人** 東山植物園 (2022年10月1日) 留学生7名+家族4名
 サポーター5名
 植物園内はガイドさんの案内により、秋の植物と合掌造りの家を楽しみました。
- 人** 名古屋城 (2022年10月22日) 留学生13名+家族3名
 サポーター8名
 普通の観光ではあまり着目しない石積みについて詳しく説明を受け、忠実に復元された本丸御殿では武家文化を垣間見ました。
- 人** 宮の渡し (2022年11月26日) 留学生15名+家族3名
 サポーター6名



参加者全員で
 はい、パチリ

宮の渡しは 古街道をたどる入り口

旧東海道の海路の入り口の宮の渡しの第一印象はその場所がかなり内陸にあるなということ。いまの名古屋は埋立地で挟まれた堀川の先にある。
 幕末期の旅籠「伊勢久」(丹羽家住居)が旧街道に残っていて何か新しいものに利用されようとしていることも新鮮な驚きでした。その少し先には明治時代の建物がグループホームとして利用されている。
 再建された常夜灯や火の見櫓、その先にある渡し跡の水際に茂る芦あるいは堀川沿いに残る戦争遺構よりも留学生たちにとって映えたのは、その後の白鳥庭園の紅葉や橋、松に施された雪吊りのほうかも。
 桶狭間の戦い(1560年)からの名古屋の歴史市街については「古地図で辿る名古屋400年No1 江戸時代Network2010」
<https://www.youtube.com/watch?v=4dyqqibnvlA>
 が楽しめる。

石川 勝 (会員)

Year End Party

- Lunch 留学生9名+家族1名
 サポーター4名
- Afternoon Tea 留学生3名+家族2名
 サポーター4名
- Dinner 留学生8名+家族1名
 サポーター7名
 ボランティア2名

2022年の忘年会はほっこりほっこり

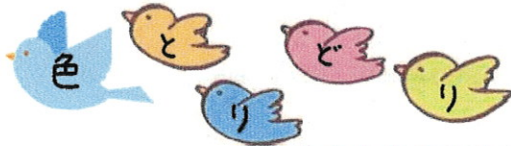
留学生として、12月26日にNPO法人なごやリュウネット主催の2022年忘年会に参加させていただきました。パーティーは、柔軟な時間(ランチ、アフタヌーンティー、またはディナーセッション)と素晴らしい料理で、RyuNetのメンバーによって慎重に準備されました。昼食会には、留学生、教職員、リュウネット会員14名が出席しました。おいしいローストチキン、新鮮なグリーンサラダ、甘いデザートがみんなを魅了しました。なによりも、パーティー中の会話が楽しかったので、さまざまな国の人々がつながり、お互いをよりよく知ることができました。正月の風習や名物料理、自国(日本、ベトナム、モンゴル、ミャンマー)の魅



第一部 ランチからスタート

力的な旅行先など、参加者の皆さんの話に盛り上がりしました。また、学生は、過去1年間の生活や勉強における課題や、新しい年への願いを自由に共有することができました。その後、参加者、特に教授の方々から貴重なアドバイスや励ましをいただきました。パーティーは笑い声でいっぱいでした!
 留学生のために多くの有意義な活動を企画してくれたRyuNetに心から感謝します。特に、居心地の良い忘年会のおかげで、ホームシックが和らぎ、新年に向けてエネルギーが湧いてきました。

ビ ティ ヒエン (名古屋大学法学研究科)



このコラムでは、NPO Nagoya Ryugakusei Net を支援して下さっているみなさんにご登場いただき、いろんな思いや意見、ご自身の素顔など自由に描いていただきます。まさに色とりどりの内容が毎号はばたきます。どうぞご期待ください。
第3号はWalk&Talkの参加をきっかけに賛助会員となった伊藤研治さんです。

20代のヨーロッパ大旅行

60代の今、思い返す初の海外。名大生の夏休み、欧州一周の旅に出た。「地球の歩き方」を持ち、Gパン、Tシャツのバックパッカー姿。今ならスマホさえあればホテル探しなどわけもない。当時、降り立った駅でまずインフォメーションへ行き、宿の確保から始まる。その宿へ直行し荷物を置き、やっと町の探検が始まる。

この旅が私の40年の国際ビジネスマンの原点だ。生まれも育ちも名古屋の私にとって欧州は未知の世界。井の中の蛙、大海を知らず、この旅が私を大きく変えた。当時は東西冷戦、ドイツは分断国家、通貨はユーロへの統合はまだ先で、国境を越え現地通貨に両替する毎にお金が減る。ドーバー越えもトンネルはなく、フェリー。僅か数十年で世界は大きく変わったものだ。

一番学んだことは現地現物の重要さ。一例だが、フランス人は英語ができててもプライドから英語は話さないと聞いていた。ルーブルの前で思い切って同じ年頃のフランス人に覚えてたの仏語で話しかけてみた。全

く通じない。彼はフランス人ではないのかと疑っていると逆に Do you speak English? と聞かれた。結局、英語で話すことになる。フランスの若者は英語を話すと思い知らされた。自分の目で確かめないと真実にたどり着けないと実感した。この旅で、現地現物の重要さを知ったのだ。

伊藤研治 (賛助会員)
元名古屋大学法科大学院教授、
元豊田自動織機法務部長、元サンゲツ取締役



パリ・凱旋門の前で
筆者は右側



2022.9.1~これまで

◆運営◆

- 2022.11.7 3年次通常総会
- 2022.11.21 名古屋市に第2年次の事業報告書提出
- 2022.10.31 国際交流基金に中間報告書提出
- 2022.12.5 役員変更登記
- 2022.12.6 名古屋市に役員変更届提出

◆常設事業◆

- Off-campus Supporter Program (支援者紹介プログラム)
2022.8~12 1頁の記事参照
2022.12&2023.1 日本語習得のため留学生に日本人学生を紹介
- Research Audience Program 2022.11.11 実施

◆個別事業◆

2頁及び3頁の記事参照

◆活動環境の整備◆

- 2022.9.5 認定NPO法人イーパーツ「第25回周辺機器寄贈プログラム」A3両面カラー印刷複合機受贈
- 2022.10~12 NPO法人ボランティア・ネーバーズ「名古屋市『認定・指定NPO法人取得支援事業』」により3回の税理士派遣を受ける。
- 2022.10.28 「赤い羽根」助成・1頁の記事参照



皆さんの協力のもと第3号を発行します。この内容から分かるようにNagoya RyuNetの活動も軌道に乗ってきました。一方で日本に来たばかりの留学生には、まだまだあまり知られていません。そこで、このNewsletterをはじめて手にした留学生の皆さんが、近いうちに私たちのオフィスを訪ねてくれることを願っています。

(編集担当: 柴田由紀、松浦以津子、小崎和子)

●連絡先

NPO Nagoya Ryugakusei Net

〒466-0804
名古屋市昭和区宮東町37
MAIL office@nagoyaryunet.org
TEL 052-734-3678
https://nagoyaryunet.org



●交通アクセス

名古屋市営地下鉄「名古屋大学」駅1番出口よりグリーンベルトに沿って西へ5分 西通用品口へ 西通用品口から西へ徒歩2分。
「伊勝小学校北」の信号の手前で右折 左に一本目を過ぎて左側2軒目2階建ての家



●地図

